

大沢野地域公共施設複合化事業〔リーディングプロジェクト〕基本計画（案）の
パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

大沢野地域公共施設複合化事業〔リーディングプロジェクト〕基本計画（案）についてパブリックコメントを実施した結果、次のとおりご意見が寄せられましたので、それに対する市の考え方と併せて公表いたします。

【意見募集期間】

令和2年1月17日（金）から令和2年2月3日（月）正午まで

【意見提出者数及び意見数】

6名49件

【ご意見と市の考え方】

No.	ご意見（要旨）	左記に対する市の考え方
＜第2章 地域の現状と課題について＞		
1	地域生活拠点が久保地域に移行すると予想されているが、本計画に対しての関連付けを検討してほしい。	<p>地域生活拠点は、本市の都市計画の方向性を示す「富山市都市マスタープラン」において、商業や医療、福祉、教育など、日常生活に必要な諸機能の集積を図る地区として設定しているものであり、大沢野地域においては、「大沢野行政サービスセンター及び笹津駅周辺」を同拠点として位置づけており、ご意見のありました地域生活拠点が久保地域に移行すると予想しているとの事実はありません。</p> <p>なお、本計画では、今後の人口分布が地域生活拠点である大沢野行政サービスセンターや笹津駅周辺から久保地区中心にシフトしていくと予想されることを踏まえ、拠点集中型のまちづくりを推進する観点から、まちづくりの核となる地域生活拠点における都市機能の更新を図ることにより、その拠点性を一層高めることが重要であるとの認識を示しております。</p>
＜第3章 計画の基本コンセプトについて＞		
2	費用削減の観点からの再編複合化だけでなく、基本コンセプトである地域活性化の視点からの機能計画が必要ではないか。	P9に記載のとおり、本事業では、PPP手法の導入等により、財政負担を軽減するだけでなく、民間事業者が持つ様々なノウハウを生かし、公共施設の利用者満足度の更なる向上

3	<p>稼働率アップと利用満足度、要望施設を考えると、カフェや食堂、地場産市場、定期的なフリーマーケットの開催が可能な屋外スペースなど、積極的に人を呼び込む機能が必要ではないか。</p>	<p>を図るとともに、余剰地等には、観光や商業など、地域を活性化させる地域生活拠点としてふさわしい都市機能の誘致を目指すこととしております。</p>
4	<p>ワークショップにおいて、「場の提供」が求められているが、対象エリアの範囲を拡大してはどうか(例えば、①敷地の左側の三角形敷地等)。</p>	<p>複合施設等の整備を予定する対象敷地につきましては、本計画において必要な面積を確保できると考えられることから、対象エリアの拡大は予定しておりません。</p>
5	<p>集会施設の類似施設の効率化が課題として挙がっているが、どの地域を本計画において集約するのか提示してほしい。</p>	<p>P12に記載のとおり、本事業において複合化の対象とする施設機能は、大沢野行政サービスセンター、大沢野生涯学習センター、大沢野公民館、大沢野図書館、大沢野文化会館、大沢野武道館、青少年体育センターとしております。</p>
6	<p>複合施設と児童館との関連が見えないが、整備方針は。</p>	<p>また、大沢野児童館につきましては、複合化の対象としておりません。</p>
7	<p>複合施設と民間収益施設の一体化を図るべき。</p>	<p>複合施設と民間収益施設の一体化(合築)につきましては、民間事業者へのヒアリングに基づく当該地域の民間需要等を踏まえ、民間事業者の途中撤退による空きスペースの発生などの懸念もあることから、現時点では考えておりません。</p>
8	<p>民間収益施設について、個建・独立採算の考え方はかなり困難と考えます。複合施設の中にスペースを確保し、テナントに入居する案にしてもらいたい。</p>	<p>一方、改修の上、行政機能の一部として活用する既存施設(大沢野生涯学習センター)につきましては、スペースに余裕があることから、テナントとしての活用につきましても今後検討することとし、隣接する複合施設も含め、必要な機能の一体的な確保に努めてまいりたいと考えております。</p>
9	<p>多目的ホールでは、他の文化団体や体育サークル、個人利用者との共用となり、利用日や時間帯の調整が必要となる(利用時間が確保しにくくなる)。 また、剣道の防具や空手、柔道の道具などの収納スペースや更衣スペースもない。 現行と同等の武道館機能・稽古環境を継続させるため、複合施設等への武道場の設置や大沢野中学校の武道場の民間利用を検討してほしい。</p>	<p>大沢野武道館につきましては、昨年度に開催した地域の代表者や施設利用者等によるワークショップにおける議論を踏まえ、その機能は縮小しつつ、多目的スペースとして確保する方向としたものであります。 このため、市では、複合施設には武道を含めた様々な用途で利用できる多目的ホールを整備するとともに、学校体育施設を開放すること(検討中)により、一定の武道館機能を確保することとしておりますので、専用の武道場を新たに設置することは考えておりません。</p>

		<p>なお、多目的ホールには、机や椅子など共用の備品を格納する倉庫や器具庫のほか、利用者向けの更衣室を設ける予定としておりますが、剣道の防具など、個人の所有物を常時保管するための専用スペースの設置につきましては、公の施設の性格上、考えておりません。</p>
<p><第4章 整備計画について></p>		
10	<p>多世代交流拠点としての拠点性をより高めるためには、予算の制約がある中で行政機能の新築スペースをもっと圧縮すべきであると考え（例えば、大久保地域にサテライトを設け対処するなど）。</p>	<p>行政サービスセンターや保健福祉センターにおいては、赤ちゃんや高齢者までの幅広い世代の方々を対象とする各種事業や講座を実施し、多くの方々の来庁が見込まれることから、図書館やホールなどその他の機能と複合化することで、賑わいの創出や交流の促進につながるなど、施設の拠点性の向上が図られるものと考えております。</p> <p>また、本事業においては、新規の複合施設だけでなく、安全性が確保できる既存施設を一部改修の上、行政機能の一部として活用するなど、財政負担に配慮しつつ、必要な機能の確保に努めていることから、複合施設における行政機能の更なる圧縮は考えておりません。</p>
11	<p>多目的ホールには、収納式客席を導入してはどうか。</p>	<p>収納（可動）式客席につきましては、講演会や式典、演劇など、用途に合わせた観客席を容易かつ短時間で設営できるなどのメリットがある一方、導入や維持管理には多額の費用を要することや収納のために多くのスペースを要することなどの課題もあることから、その必要性や費用対効果等を踏まえ、今後検討されていくこととなります。</p>
12	<p>多目的ホールでのスポーツ活動に付帯する更衣室の考え方は。</p>	<p>多目的ホールには利用者向けの更衣室を設ける予定としておりますが、詳細につきましては、今後検討されていくこととなります。</p>
13	<p>多目的ホールは小さすぎて使い勝手が悪いと思う。スポーツセンター機能を持たせるには、1階だけでは選手の荷物置き場や観客の入るスペースがないため、少なくとも2階席に観客席が必要ではないか。</p>	<p>多目的ホールにつきましては、大沢野生涯学習センター、大沢野公民館、大沢野武道館、青少年体育センター、大沢野文化会館の必要な機能を一体化し、幅広い世代の方々が様々な用途で利用できるスペースとして整備するものであり、2階に観客席を有するような大規模なスポーツセンターとしての機能は想定しておりません。</p>

14	図書館が現状の 1,042 m ² から 600 m ² に縮減されているが、面積の融通性の可否は。	大沢野図書館につきましては、昨年度に開催した地域の代表者や施設利用者等によるワークショップにおける議論を踏まえ、集約化する方向としたものであります。 面積の融通性につきましては、その必要性等を踏まえ、今後検討されていくこととなります。
15	本計画では、規模が縮小された従来型の図書館のイメージしか浮かびません。これでは、利用者や見学者・訪問者の増加は限定的と思われるため、是非、佐賀県武雄市図書館を参考にして欲しいと思います。	大沢野図書館につきましては、本市の図書館行政における位置づけをはじめ、民間事業者へのヒアリング調査の結果や費用対効果等を総合的に判断し、これまでどおり、直営による運営を基本としておりますが、施設の整備に当たっては、PPP 手法の導入等により、民間事業者の新たな発想や工夫を最大限に取り入れるとともに、他の機能との連携などにより、利用者満足度の更なる向上を図ることとしております。
16	ノーベル賞体験コーナーや神岡町観光の紹介コーナーを設置してはどうか。	P18 に記載のとおり、複合施設には、大沢野地域にゆかりのあるノーベル賞受賞者の功績を紹介するとともに、科学の面白さを体験できる交流スペースを設置する予定としており、より充実したスペースとなるよう、引き続き検討してまいります。
17	ノーベル賞に関するコーナーについて、今の生涯学習センターの 1 階にあるコーナーは、利根川先生の物しかない。梶田先生や田中先生、本庶先生をはじめ、ノーベル街道にゆかりのある先生方の功績も紹介し、充実したコーナーとなる事を願う。	
18	行政センターの構成はオープンカウンター方式としてはどうか。	複合施設や改修する既存施設の設え等につきましては、利用者にとってわかりやすく、かつ利用しやすい施設となるよう、今後検討してまいります。
19	本計画では、大沢野地域のこの施設への期待に反し、役所の新築で地元の活性化に、なんら寄与せず反感が強い。少なくとも、子どもから高齢者までが楽しめ、かつ元気になる施設にしてもらいたい。	昨年度に開催した地域の代表者や施設利用者等によるワークショップにおける議論を踏まえ、本事業では、PPP 手法の導入等により、民間事業者が持つ様々なノウハウを生かし、公共施設の利用者満足度の更なる向上を図るとともに、余剰地等には地域を活性化させる地域生活拠点としてふさわしい機能の誘致を目指すこととしております。
20	活用する既存施設の階別の概案や改修しない 3,300 m ² の内容、農林・土木・東上下水道の業務が 1,200 m ² に含まれるのか	活用する既存施設（大沢野生涯学習センター）の改修内容につきましては、今後検討することとしており、事業実施段階に改めてお示

	提示してほしい。	<p>しする予定です。</p> <p>なお、農林事務所、土木事務所及び東上下水道サービスセンターの機能につきましては、活用する既存施設（大沢野生涯学習センター）内にその執務室や会議室等として、約1,200㎡の面積を確保する予定としております。</p>
21	図書館を1階に、行政センターを2階に配置すべき。	<p>複合施設内の機能配置の考え方につきましては、利用者にとってわかりやすく、かつ利用しやすいことや管理運営が容易であること等を踏まえ、今後検討されていくこととなります。</p> <p>ご意見は、具体的な事業の提案として承ります。</p>
22	ゾーニングを明確にすることは重要だが、コミュニティ機能や図書館機能、行政機能等を意図的に横断する仕組みを入れて、施設の全体利用や相互利用を加味することが望ましいのではないか。	
23	生涯学習センターの既存棟改修に伴い、リーディングプロジェクトの新しさをアピールするために外壁の一部をリニューアルし目立つようにしてはどうか。	<p>大沢野生涯学習センターの改修につきましては、施設の耐用年数等に鑑み、大規模な工事は想定しておりません。</p>
24	全ての運営を公共で行うのではなく、一部でも民間に委託し、積極的な運営方法を試みるのが有効ではないか。	<p>複合施設につきましては、施設の性質や民間事業者へのヒアリング調査の結果、費用対効果等を総合的に判断し、これまでどおり直営による運営を基本としておりますが、民間事業者の持つ様々なノウハウを生かし、利用者満足度の更なる向上が図られるよう、一部業務の民間委託等につきましては、引き続き検討してまいりたいと考えております。</p>
25	大規模災害に備えるため、避難施設としての整備費、停電に対する非常用発電・蓄電施設、飲料水、トイレの確保等、ハイブリットの考えを施設に導入しておくことが大事では。	<p>市では、災害発生時の市民の生活や安全を確保するため、かねてより、避難所との地理的条件等を考慮した地域分散型の備蓄場所を確保し、食料や生活必需品、飲料水等の備蓄に努めております。</p> <p>また、複合施設につきましては、富山市業務継続計画に基づき、大規模災害などの非常時における優先業務の適切な遂行環境を確保するため、非常用発電機等を設置する予定としております。</p>
26	地域交流施設には、商工会、観光事業案内所、子ども（小学生）の放課後の交流施設（いわゆるキッズステーション）も含めてほしい。	<p>本事業では、PPP手法の導入等により、財政負担を軽減するだけでなく、民間事業者が持つ様々なノウハウを生かし、公共施設の利用者満足度の更なる向上を図るとともに、余剰地等には地域を活性化させる地域生活拠点としてふさわしい機能の誘致を目指すこととし</p>
27	屋外スペースの有効利用や多目的利用などを検討できるのではないか。	

28	本複合施設は、シンボリックな建築に常設の演出照明を加味することで施設価値を高めランドマークとなる可能性がある。	ております。 ご意見は、具体的な事業の提案として承ります。
29	日帰り温泉施設（ウィンディ、春日温泉）へのシャトルバスを運行してはどうか。	
30	車以外のアクセスとして、コミュニティバスの拠点での発着を検討してほしい。	
31	周辺の空き地を活用して、環境保全SDGsへの個人の参加の目的も含め、個人名にて苗木を成育させる記念樹の森や施設へ来る目的を明確にする菜園を提案したい。	
32	野外での子どもの遊び場として、ふわふわドーム等を整備してもらいたい。	
33	施設内に、Eゲームのゾーンや大型スクリーン、全エリアのWi-fi、防犯カメラを適正に設置してほしい。	
34	地域の伝統芸能、祭り、イベント等を定期的に開催できるスペースを設置してほしい。	
＜第5章 事業計画について＞		
35	供用開始と解体設計が並行スケジュールであるが、解体設計は先に完了しておくべきと考える。	本事業においては、施設によって解体の時期に差異が想定されることから、そのような記載としております。 詳細につきましては、事業実施段階に改めてお示しする予定です。
36	行政が引っ越しするまでの使用建物などを含め、工事ステップごとの概案を提示してほしい。	工事方法など整備に当たって配慮すべき事項につきましては、事業実施段階に改めてお示しする予定です。
37	大沢野文化会館の解体中は生涯学習センターを閉鎖し、複合施設新築と並行で改修が完了までは閉鎖と考えるが良いか。	
38	概算事業費の大まかな内訳を教えてください。特に解体費用や設備配管等や電気配線の切り回し費用です。	概算事業費の内訳につきましては、設計・工事監理費が約0.7億円、解体撤去を含む工事費が約23億円、引越費約0.3億円となっております。

		ります。なお、この事業費はあくまで現時点の概算であり、今後の検討等により増減する場合があります。
39	概算事業費の主な費用には全体の維持管理費は含まれていないのですか。設備・備品費の具体的な内容が不明です。改修の設計費及び工事費は含まないと考えて良いですか。	P28に記載のとおり、概算事業費には、設備・備品費、活用する既存施設の改修費のほか、維持管理費は含んでおりません。 また、設備・備品の内容につきましては、事業実施段階に改めてお示しする予定です。
＜第7章 参考（ワークショップ等の概要）について＞		
40	第2回のワークショップにおける意見として、「生涯学習センターは現状不便なので」とあるが、その理由は。	お尋ねのご意見につきましては、生涯学習センターの利用に当たって、申請に手間がかかることやインターネット等で予約状況を確認することができない点などを理由として発言されたものです。
＜その他＞		
41	計画敷地の周辺の道路の変更の有無は。	周辺道路の変更や工事条件等につきましては、その必要性や周辺に及ぼす影響等を踏まえ、今後検討することとしており、事業実施段階に改めてお示しする予定です。
42	工事中の制限動線の有無と工事借地のエリアの指定の有無は。	
43	富山型 PFI として全国から注目されるよう、地域に密着した企業によって建設されることが望ましい。	市では、これまでの PFI 事業におきましても、優先交渉権者の選定においては、地元企業の活用や地元雇用、地域産材の使用など、市内企業の育成や地域経済への貢献を評価の視点に加えております。 本事業におきましても、PFI 事業として実施することとした場合には、こうした考え方に基づき、審査基準等を検討してまいりたいと考えております。
44	民間収益施設（余剰地活用事業）については、今後の市場動向も考え、施設が市民の期待に応えられる事業を導入できるよう、施設計画を事前に提案したいと考えています。	本事業の検討に当たりましては、社会経済情勢等の変化に柔軟に対応するとともに、将来世代に大きな負担を残さないよう、財政負担にも配慮しつつ、PPP 手法の導入等により、民間事業者の新たな発想や工夫を最大限に取り入れながらサービスレベルの向上や地域の活性化が図られるよう努めてまいります。
45	大沢野を今以上の活力が生まれる地域にするためにも、合理的な価格設定をしていただき、事業者の提案しやすい環境づくりをしてもらいたい。	
46	生涯学習センターの有効活用もあわせ、提案できる内容での公告に期待します。	

47	5 年後、10 年後を見据えた施設を目指すためにも予算は最大限配慮願いたい。	
48	複合施設運営に隣の八尾コーナーや大山コーナーを想定してはどうか。	恐れ入りますが、ご意見の趣旨が不明瞭であり、回答は差し控えさせていただきます。
49	大沢野地域及び大山地域、各拠点のプロジェクト基本構想・コンセプト等を含め、運営施設としての連携と役割分担を明確にすべきではないか。	